

1 両社のサービスについて

■九州電力：デジがろ

アーティストから預かったデジタルアート作品に、学芸員の資格を持つ方がキュレーションしてサイト上に掲載し、販売促進を行うことができるプラットフォームサービスです。九州電力の「KYUDEN i-PROJECT^{※5}」により立ち上がった「九電デジタル画廊プロジェクト」が運営しており、本日から実証実験を開始しています。キュレーションを通じてデジタルアートの美術的価値を可視化することで、価格が安定しにくいデジタルアートの価格安定化・高付加価値化を図るとともに、アーティストや学芸員資格保有者に新たな収入機会及び実務経験の場の提供を目指しています。

URL: <https://digigaro.com/>

(※5) KYUDEN i-PROJECTは、九電グループ全体でのイノベーションを起点とした、「未来の事業」を生み出すためのプロジェクトです。

URL: <https://kyuden-innovation.jp/>

■SBINFT：SBINFT Market

「SBINFT Market」は、承認制のNFTマーケットプレイスです。マーケットプレイス内で流通するNFTを、SBINFTが承認済みのコンテンツホルダーが発行したものに限定し、ユーザーが模倣品や海賊版を購入するリスクの排除に努めています。また、対応する決済手段は、Ethereum、Polygon、Oasys（各種Verse）、Avalanche及びクレジットカード（日本円）で、暗号資産を持たないユーザーでも利用可能です。Web3初心者が安心してNFT取引を開始できる環境の提供に努めています。「SBINFT Market」は2025年5月時点で累計20,000人超のユーザー（ウォレット接続ユーザー数）が利用しています。

URL: <https://sbinft.market/>

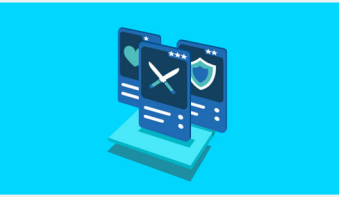
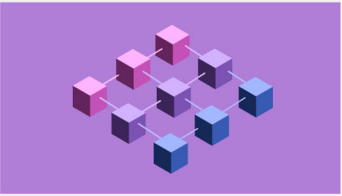
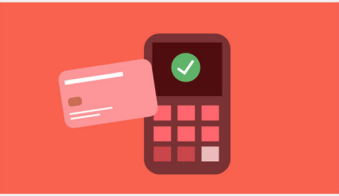
SBINFT Marketとは



企業・IPホルダーが安心して利用できる

パブリックチェーンNFTマーケットプレイス

主な特徴

	NFTの発行		販売/二次流通を提供
	Ethereum Polygon Oasys チェーンに対応		日本円決済 (クレジットカード) にも対応

2 両社の会社概要

■九州電力株式会社について



「快適で、そして環境にやさしい」そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。それが、私たち九電グループの思いです。

所在地	福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
代表取締役 社長執行役員	池辺 和弘（いけべ かずひろ）
設立年月	1951年5月
事業内容	電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス供給事業等
リンク	九州電力ホームページ： https://www.kyuden.co.jp/ KYUDEN i-PROJECT サイト： https://kyuden-innovation.jp/

■SBINFT 株式会社について

「Be the FIRST. Be the STANDARD.」
NFTを社会へ広げる、その真ん中に。



利便性の向上、コミュニティの形成、新たな体験の提供。
そんなNFTを通した革新的なサービスを、先頭に立って社会へ。
そのサービスを誰もが信頼できるプラットフォームで、社会の常識に。ひらかれ、つながった社会の構築を目指して。

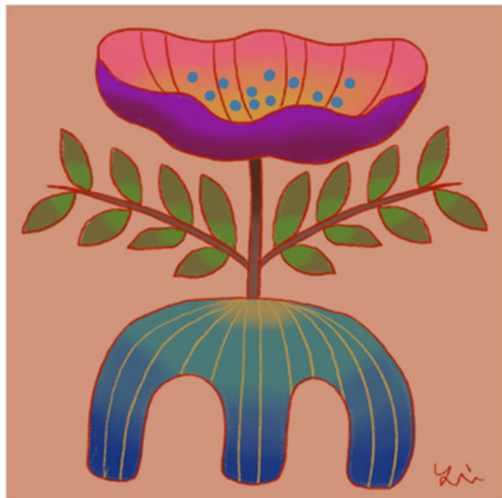
所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号 泉ガーデンタワー
代表取締役	近藤 智彦（こんどう ともひこ）
設立年月	2015年5月
事業内容	・ NFTプロジェクトの運営を通じたロイヤルカスタマーの可視化、育成、獲得が出来るマーケティングプラットフォーム「SBINFT Mits」の提供 ・ 承認制による安心安全なコンテンツのみ流通することを目的としたパブリックチェーンによるNFTマーケットプレイス事業「SBINFT Market」の提供 ・ 企業や団体などが、NFTを活用した新たなビジネスモデルの構築を実現するためのNFTコンサルティング事業「NFT Consulting」の提供 ・ 自社ドメイン上で様々なNFTコンテンツのマーケットプレイス構築を実現するWebAPIによる、マーケットプレイス構築支援事業「TOKEN ONNECT」の提供
リンク	コーポレートサイト： https://sbinft.co.jp/ SBINFT Market： https://sbinft.market/

(参考)

デジタルアート作品に対する学芸員資格保有者によるキュレーション例

Yuri Mizokami

作品名 The imaginary garden 2D-03



The imaginary garden シリーズのうちの 1 作。本シリーズでは、花器にさした植物を 2D と 3D の 2 つの方法で表現している。

本作は、手書きの質感が残る 2D 作品である。

大きく上を向いて開く花、左右に広がる枝葉は開放的な印象をあたえる。花弁の内側から光があふれるような色彩は温かく、青色のめしべのような点々はリズムカルである。

全体的に有機的な線で表現されており、人間の筆跡が描かれた植物の生命力の源にもなっている。デジタルアートでありながら、人間や植物の体温を見るものに感じ取らせる作品である。

デジタルアートを提供いただけるアーティスト及びキュレーションにご協力いただける学芸員資格をお持ちの方を随時募集しております。（お問合せ窓口：digigaro@kyuden.co.jp）